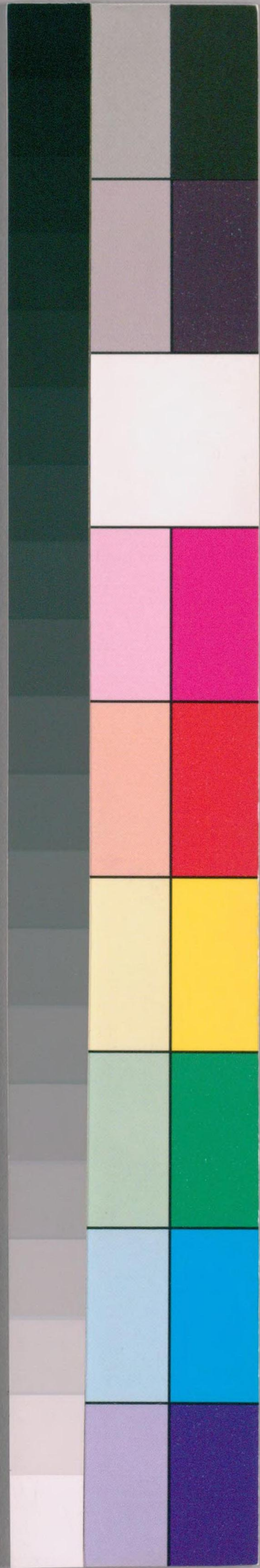


三教裸話
全

159.
M696z

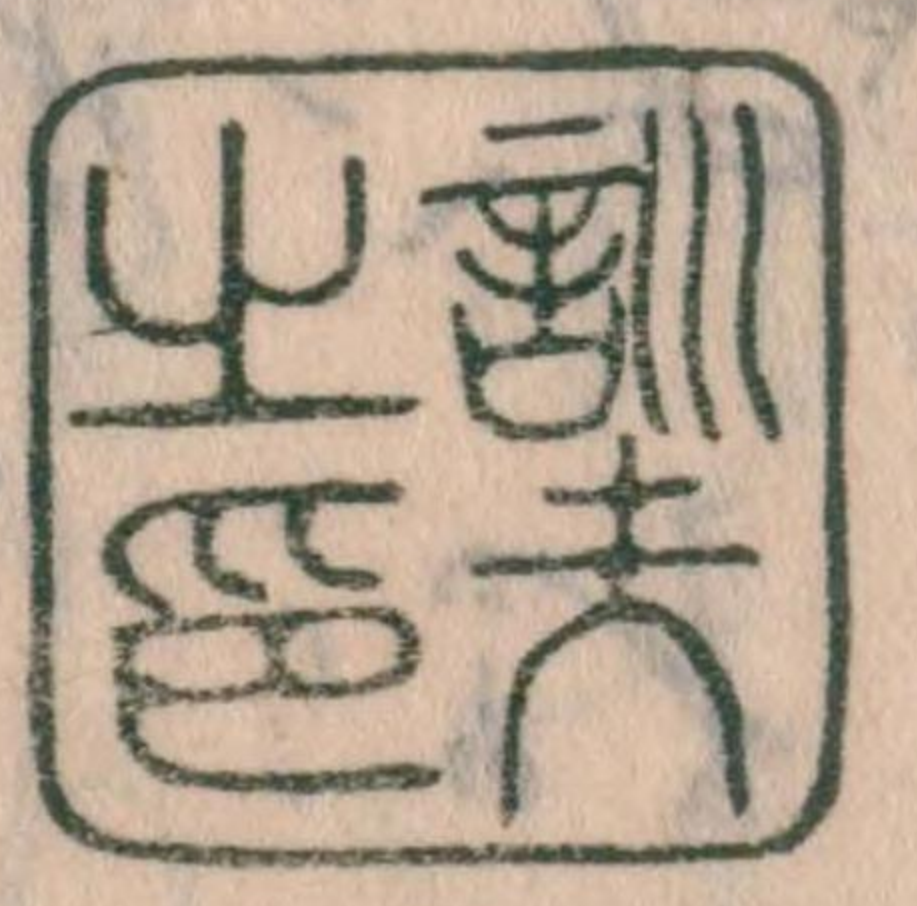


あはれ大まあし

タイカウ

宝曆の卯酉秋下句

海口敬明書



俗三教裸話 天

海口敬明輯



夫はなりて世人のまゝなると観るに。さ五
徳小のまゝなり今。祚道とさうりたる小
じのいど。傷道とさうりたるあし何いど。
佛さよとさうりたるあし何いど。多く佛
信のなり。いど。其の佛とさうりたる。あ
うのいど。月日とさうりたる。あし何いど。
よとさうりたる。あし何いど。あし何いど。
よとさうりたる。あし何いど。あし何いど。
よとさうりたる。あし何いど。あし何いど。



かゝるいふことなり

○南無阿彌陀佛といふは。南無八版令キミヤウといふこと

阿彌陀イニヤウゴキヤウハシテツヒニヤウといふは。此よおろく、陰陽を好まぬ物

とる所の妙ミヤウなり。おろく、此の妙と法陀と云

なり。傷道レユドクといふは。おろく、神道といふ國クニトコ

立命タチノミコトといふは。妙法蓮華經ミヤウホウレンゲキヤウに入ツクシび妙ミヤウと説トキふこと

淨土ジヤウドといふは。版令キミヤウを量ムリヤツ母シユニヨライといふことなり。あハ

かりされども皆ミナイチツ一佛イツツツなり。十方シツハツサンの法善レヨボ

薩サツ。八方ハツハツ法善レヨボ。教ケウ皆ケイ是シ阿彌陀イニヤウの徳トキなり。其コノ徳トキと

此コノ名号ミヤウカウといふは。其コノ徳トキの終キヤウなり。其コノ徳トキと云

唯タダ名号ミヤウカウといふは。其コノ徳トキの終キヤウなり。其コノ徳トキと云

阿彌陀イニヤウといふは。其コノ徳トキの終キヤウなり。其コノ徳トキと云

此コノ名号ミヤウカウといふは。其コノ徳トキの終キヤウなり。其コノ徳トキと云

阿彌陀イニヤウといふは。其コノ徳トキの終キヤウなり。其コノ徳トキと云

此コノ名号ミヤウカウといふは。其コノ徳トキの終キヤウなり。其コノ徳トキと云

阿彌陀イニヤウといふは。其コノ徳トキの終キヤウなり。其コノ徳トキと云

此コノ名号ミヤウカウといふは。其コノ徳トキの終キヤウなり。其コノ徳トキと云

阿彌陀イニヤウといふは。其コノ徳トキの終キヤウなり。其コノ徳トキと云

此コノ名号ミヤウカウといふは。其コノ徳トキの終キヤウなり。其コノ徳トキと云



おはるトモエ巴トモエいひものりぬきしらをね
 せよ。大防ホフデのつて俗ゾクこれと申すなり。故カヘ
 よ水トモエ所トモエこ書たり 神といふ和訓ワコトの書とて
 ぶといふの書シヤクなり 佛ホトケと親クニ名ナとて
 といふ書コトとていふも同トモいふなり
 ○昔シウシは家シウシ有シウシ八家シウシ九家シウシと云れありといふ也
 はまゝあり彼カニイキ一佛イチブツなり。その一佛イチブツと親クニ名ナ
 ありらりらりて道ミチ道ミチと行ユク也。まゝり
 道ミチと行ユク也。なり。彼カニイキ行ユクなり。て。そのこ

ららりやうにまゝりありとて極キハミありの
 一佛イチブツなり。なり。
 一もとのつてありの道ミチ、多タくれ
 におろしき月ツキとあづき
 はおのやう。とて我家ウチノカミ有シウシと他家タノカミよりき
 一こころいふ家ウチノカミなり。て、佛ブツなり。なり。て
 といふ。とてあづき。元ハジメ俗ゾク、信シンなり。なり。なり。
 他家タノカミに據スてき。とてあづき。信シンなり。なり。なり。
 せきて。彼カニイキ一佛イチブツとていふなり。なり。なり。



○年人云此と父母とてせれるものなれば
 人我と云るものなり。天地と
 父母なるものけハ。傷毒の西路よ妻くものなり。父母
 一也。いや重いれども。天地ハ陰陽なり。父母
 陰陽なり。父母の陰陽。天地の陰陽と云は陰陽
 あるにり。陰陽ハ二種なきれば。陰陽ハ父母
 なるゆへ。天地ハ父母。父母ハ父母なるものなり
 かり。天地ハ父母の母と云は具是ハ
 ものなり。先十丁十二又とハ年に死を

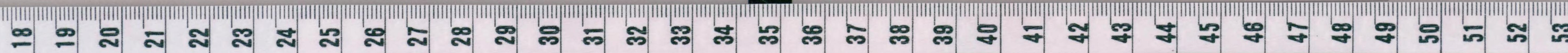
十丁ハ五臓の陰陽。一ノ甲シハ肝ノ陰陽
 の陰陽なり。丙丁ハ心の陰陽。一ノ大なり
 戊己ハ七ノ脾の陰陽なり。庚辛ハ
 金ノ肺の陰陽なり。壬癸ハ水ノ腎の
 腎の陰陽なり。十二支ハ寅卯ハ陰陽の
 府の陰陽。己午ハ小腸の府の陰陽。申酉ハ大
 腸の府の陰陽。亥子ハ膀胱の府の陰陽
 未辰戌ハ胃の府の陰陽なり。辰府ハ人乃
 もづの根也。十丁。十二又ハ人ト云ふ年と

俗三教裸話



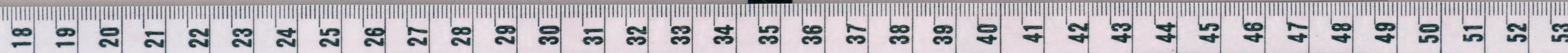
いづれのそとへも佛一たるものなりとて
 けしむのふかきあるあま。女ニシカシ人自ニシカシしとらる
 ぬさしめやうにむしりて。女ニシカシさつと得エざるもの
 あり。これなるむしり事なり。足ニシカシ性ニシカシ佛ニシカシなる
 小男女の者ニシカシがわんや。女ニシカシの男ニシカシより、馬ニシカシ鹿ニシカシなる
 ものニシカシの美ニシカシさニシカシゆへにニシカシ画ニシカシをニシカシとめニシカシてニシカシ人ニシカシがニシカシあニシカシれニシカシ方ニシカシ便ニシカシ
 なり。天ニシカシ皇ニシカシの男ニシカシとてニシカシ神ニシカシ魚ニシカシ海ニシカシさニシカシあニシカシなるゆへニシカシ女ニシカシはニシカシ行ニシカシ
 更に馬ニシカシ鹿ニシカシよりニシカシ會ニシカシ俗ニシカシよりニシカシさニシカシのニシカシ方ニシカシ便ニシカシなり。女ニシカシ人ニシカシ
 こそなる。佛ニシカシ性ニシカシと得ニシカシざるや。女ニシカシ人ニシカシよりニシカシ馬ニシカシ鹿ニシカシは

火ヒトとてニシカシ和ニシカシ判ニシカシとてニシカシ火ニシカシの湯ニシカシ火ニシカシの陰ニシカシなり。男ニシカシの湯ニシカシよりニシカシ
 天ニシカシなり。女ニシカシの陰ニシカシとてニシカシ比ニシカシなり。物ニシカシはニシカシ陰ニシカシ湯ニシカシ具ニシカシよりニシカシ
 ものなりとてニシカシどニシカシもニシカシ人ニシカシのニシカシ方ニシカシ便ニシカシなりとて
 必ニシカシしニシカシ具ニシカシりニシカシはニシカシものニシカシのニシカシ男ニシカシ女ニシカシの陰ニシカシ湯ニシカシとてニシカシ火ニシカシと
 けせり。女ニシカシのニシカシ比ニシカシにニシカシあニシカシりニシカシにニシカシあニシカシりニシカシてニシカシけニシカシいニシカシざるものなり。
 今ニシカシ女ニシカシのニシカシ方ニシカシ便ニシカシとてニシカシさニシカシるニシカシにニシカシ唯ニシカシ女ニシカシのニシカシあニシカシりニシカシなるもの
 してニシカシあニシカシるニシカシゆへニシカシにニシカシあニシカシるニシカシ。又ニシカシ女ニシカシのニシカシ方ニシカシ便ニシカシよりニシカシ女ニシカシの
 小ニシカシのニシカシ方ニシカシ便ニシカシとてニシカシさニシカシるニシカシものニシカシのニシカシ美ニシカシさニシカシ。これニシカシなるニシカシ湯ニシカシ
 なり。女ニシカシのニシカシ方ニシカシ便ニシカシとてニシカシさニシカシるニシカシものニシカシのニシカシ方ニシカシ便ニシカシよりニシカシ女ニシカシの



そのまもをよまふぞん。どぞくこ救の佛と並
 金なり。中佛檀らこの胸の中佛と表
 たるものよぞりけり。むねのうら小ここの
 是れ一花なり。かさらなり。中佛檀ら
 なるものなり。このよ。のしらにらる。は
 佛こしてあふらるものよ。あふぞ。あふぞ
 りみれてあは佛なるものよ。あふぞ。あふぞ
 もあふらるものなり。あふぞ。あふぞ
 系い。とらる。このお佛堂に佛檀ら。あふぞ。

書きし。とほらなり
 ○は。あふぞ。のらな。あふぞ。あふぞ。あふぞ
 と。あふぞ。あふぞ。あふぞ。あふぞ。あふぞ
 の。あふぞ。あふぞ。あふぞ。あふぞ。あふぞ
 か。あふぞ。あふぞ。あふぞ。あふぞ。あふぞ
 よ。あふぞ。あふぞ。あふぞ。あふぞ。あふぞ
 と。あふぞ。あふぞ。あふぞ。あふぞ。あふぞ
 る。あふぞ。あふぞ。あふぞ。あふぞ。あふぞ
 ざ。あふぞ。あふぞ。あふぞ。あふぞ。あふぞ



だれも長らうばくやうれ方便なり。今日
 の教よつづかぬは唯後世のよのよと
 かりて死てハ佛よたりのたごころハ新くも。
 真の佛とあらばおゆんもとらたはん。
 にもく佛よなるごころもたもたはん。
 女もつたも。ごころに佛よあらん極楽の
 んごころもひくごころの多し。佛道
 信のよれが佛よあらハ傷道信のものハ
 死して傷よなる道理なり。おれも傷

道信らのもの死して傷よなるごころも
 さいごのよれもあつて死して佛よ
 ならんものよれもあつて佛よあるもの
 こそとらる。傷道神道ごころも佛道
 こそとらる。佛ごころも天竺こそ
 の道の名なり。天竺こそ道とごころなる
 ものハ佛道と侍るごころも佛よある
 ことごとものなり。神傷佛の道とある
 名もこそとらる。神傷佛の名もたはん。

俗三教神言

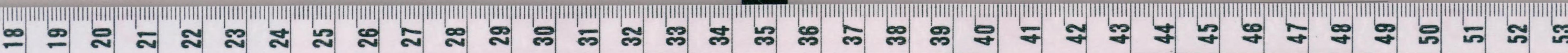
三



妻子なく。尊欲あり。慈悲とせむのりなりと
 一。愚癡無智貪欲ふらふものごり小男
 はせきて。吾道之川入る。慈悲方便のわえと。
 釈尊より清浄とせむと。初めあるものふ
 して。あつなり。俗も捨あたるゆめ。のり。
 俗い妻子ありて。代くみ孫お侍。一。生きて
 後で。天にありなるものなり。極よ佛なり。そ
 俗い。今見ゆると。才よ。慈悲ありなり。佛道
 ハ。垢せのりなり。方便とせむ。が。あり。

唯今見ゆると。人なり。道と侍。そ。い
 子孫。無業とせむ。い。た。ん。斗。そ
 あり。方便とせむ。わ。え。あり。なり。佛道を
 後世のりなり。佛のり。い。ら。る。もの。あり。ハ
 天に。入。る。の。り。結。結。と。い。人。ハ。そ。ん。と。い
 俗と道。い。と。せ。む。が。お。小。妻。よ。と。捨。也。
 釈と。と。ら。る。無。欲。我。慈。悲。悟。道。の。り。なり。
 史と。り。り。れ。て。方。便。と。い。吾。道。之。り。ら。び。こ
 あり。なり。及。所。佛。一。ら。る。人。ハ。佛。道。の

俗三教裸話



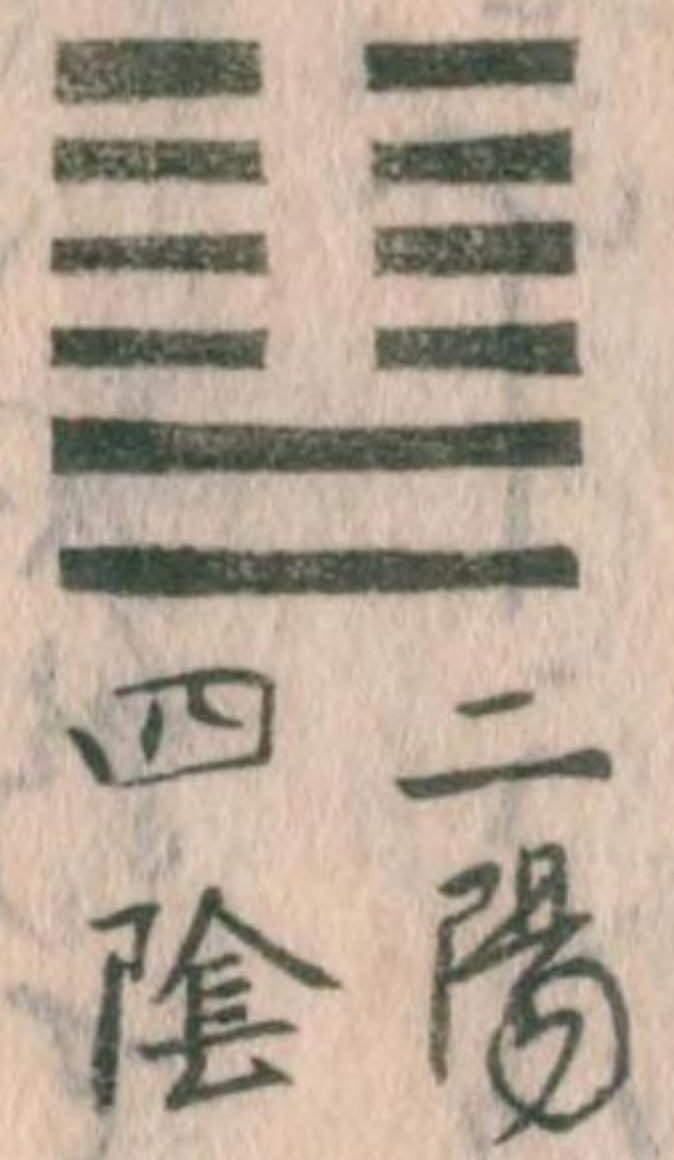
ことりては行もりさふなり
 〇凡俗の今日のいさなりと世俗のいさゆ
 多くは修しとすも人なりとてさ
 木の葉の影をばげていよぬるま
 しの道道なるまゝいよぬるま
 多くは修しとすも人なりとてさ
 木の葉の影をばげていよぬるま
 しの道道なるまゝいよぬるま
 多くは修しとすも人なりとてさ
 木の葉の影をばげていよぬるま
 しの道道なるまゝいよぬるま

回着しとすも人なりとてさ
 木の葉の影をばげていよぬるま
 しの道道なるまゝいよぬるま
 多くは修しとすも人なりとてさ
 木の葉の影をばげていよぬるま
 しの道道なるまゝいよぬるま
 多くは修しとすも人なりとてさ
 木の葉の影をばげていよぬるま
 しの道道なるまゝいよぬるま

俗三教裸話



今の十二月



七

二月

夜更著

今月の夜更著キサラギこいよキき霜シロフましく降ツクこゆツク夜更著キサラギこいよキき霜シロフましく降ツクこゆツク夜更著キサラギこいよキき霜シロフましく降ツクこゆツク

今の正月



寅

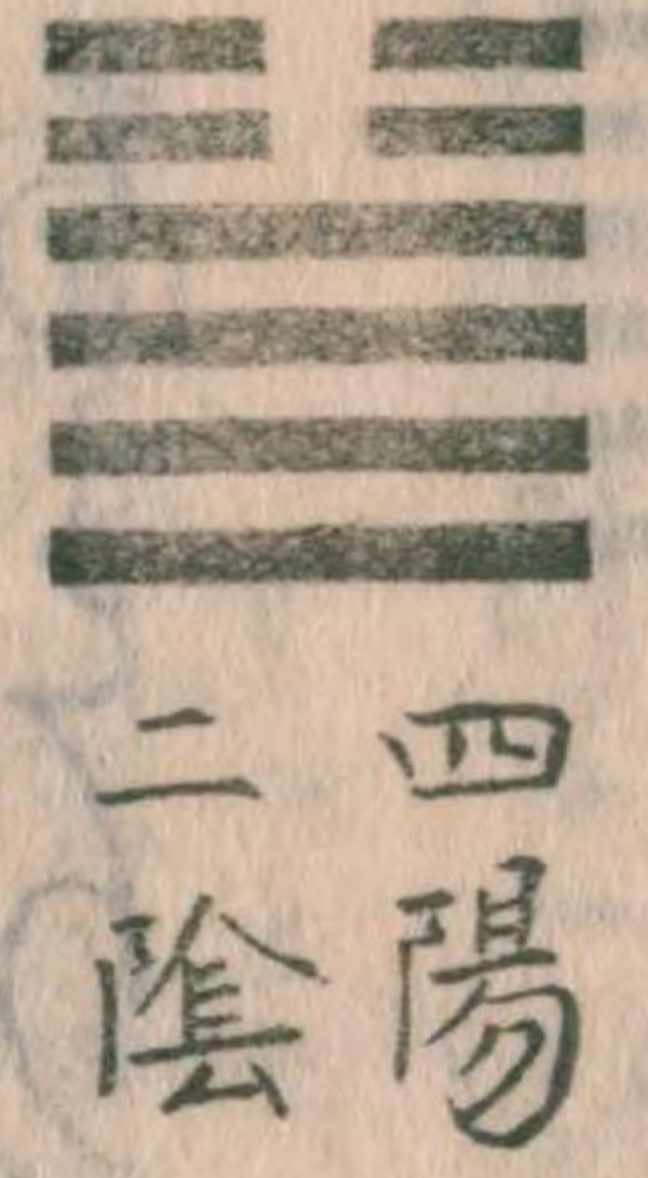
二月

海生ヤヨヒこいよ

今月の海生ヤヨヒこいよキき霜シロフましく降ツクこゆツク夜更著キサラギこいよキき霜シロフましく降ツクこゆツク

よくあまアタり

今の二月



卯

二月

卯月ウヅキこいよ

今月の卯ウヅキこいよキき霜シロフましく降ツクこゆツク夜更著キサラギこいよキき霜シロフましく降ツクこゆツク

今の二月



辰

五月

五月イツキこいよ

今月の五月イツキこいよキき霜シロフましく降ツクこゆツク夜更著キサラギこいよキき霜シロフましく降ツクこゆツク



五月サツキこころ。和ワ刈リしそサとサとト唱ナゆるルお
 菜サ苗ナエ菜サ湯ユ 菜サ氣ケあハしシぬレたりリ。吾ミ人ニ皆シ
 早サ苗ナエこコ書カいイ流リたりリ。湯ユとトあハこコいイあハ流リ
 してシ飯イのノ湯ユとト菜サ湯ユこコいイたりリ。酒サ、全ニくク菜コ
 のノ氣キたるル也ヤ。菜サ氣ケとト和ワ刈リせリ。東トウ國クニしシそソ
 菜サのノぬルとト菜サ層ソウこコころロ。故コトよヨ菜サ月ツキこコころロ
 ぬルとトあハこコいイたりリ。

今イマのノ巳ミ月ツキ



純陽

巳

右ミダのノ

巳ミ月ツキ

和ワあハこコいイたりリ
 菜サ月ツキ

五月ミナツキとトあハ月ツキこコころロ。巳シ月ツキ、純ジュン陽ヤウとト陰インなるル月ツキ
 少シウ火カ之ノ月ツキこコころロ。火ヒ、陽ヤウ水スイ、陰インなりリ。故コトよヨ菜サ月ツキこコころロ
 月ツキこコころロ、陰イン之ノ月ツキこコころロなりリ。又マタ月ツキ純ジュン陽ヤウとト
 巳シ月ツキ、皆シ陽ヤウ之ノ月ツキなるル也ヤ。皆シ陽ヤウ之ノ月ツキとトいイたりリと
 異イしてシ皆シ月ツキこコころロとトいイたりリとトいイたりリ。

今イマのノ

五月



一陰
五陽

午

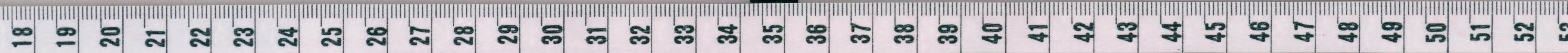
右ミダのノ

七月

和ワあハ

菜サ月ツキ

五月フミツキとト流リ月ツキこコころロ。巳シ月ツキ、百ヒャク草ソウとト流リ方フ病ビョウ瘡ソウ
 瘡ソウとトあハりリたりリ。今イマ、山サン野ヤにニ出デ。百ヒャク草ソウとト流リ月ツキ

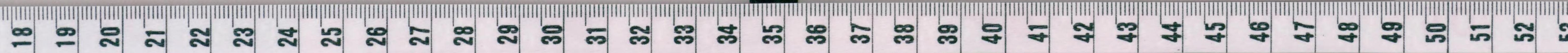


むたに因て踏月こりなり 荆楚義時記
 五月五日民話よ湯百草こりなり。は五月の今月
 こそ古の七月なり。今婦人女子高瀬と頭上よ
 揃ミ又高瀬湯へて沐浴するとはき屋あり
 一。五月の法系まじりぬ納艾も
 トリシサム 又五月の桑苗と梅る月なり
 ギウバ 牛馬に因と踏せく梅る地 田踏月と異して
 フミ 踏月こりなり 又或は月と文月と
 マチバタ 月七夕に如しと文月と印くぬ

フミツキ 文月こりなり 今七夕のゆらやまりて
 イマユノタナハタ 今七夕のゆらやまりて
 ズクサイカイキ フテイ 今七夕のゆらやまりて
 フジシ 今七夕のゆらやまりて
 ツタ 今七夕のゆらやまりて
 テンジウ レウニョク ケガス 今七夕のゆらやまりて
 ヨモフ 今七夕のゆらやまりて
 モト 今七夕のゆらやまりて
 マナスハタ 今七夕のゆらやまりて
 ヒキウシヨ 今七夕のゆらやまりて
 フリヒメ ハタ 今七夕のゆらやまりて
 シヨク 今七夕のゆらやまりて
 ケンギラ シヨクシヨ 今七夕のゆらやまりて
 ケンギラ シヨクシヨ 今七夕のゆらやまりて
 ケンギラ シヨクシヨ 今七夕のゆらやまりて
 ケンギラ シヨクシヨ 今七夕のゆらやまりて

俗三教裸話

十四



ありては...
 夜合はのこりて...
 浦よりとぶと...
 夜合はのこりて...
 故きなりと...
 とどろも...
 句と...

今の

六月



二陰 四陽

未

八月

葉月

八月と葉月...
 八月と葉月...
 八月と葉月...

今の

七月



三陰 三陽

申

九月

葉月

八月と葉月...
 八月と葉月...
 八月と葉月...



後よ幾之ふちなるなり。今又戌の月には菊の花
咲けり。今月は幾之と菊に一なるものなり。ん

今の
八月 二陽 四陰
酉 古の 十月 和名 カミナレヅキ
上旬月

今月と上旬月より六月秋の末中一ヶ月は
上なる也。此月の月によする月をこりす
て上旬月とす。上旬月の物なるなり

今の
九月 一陽 五陰
戌 古の 十月 和名 シモツキ
初月

今月と初月より六月の中と初降こりくおの
とす。初月なる也。初月とす。今月とす

今の
十月 純陰
亥 古の 十一月 和名 シハス
支池

今月と支池より六月ハ十二支の終なる也。支池
こりなる。四柱こりハ終のせりなり。初月とす
昨もこりなるなり

今の
今月 一陽 五陰
子 古の 十二月 和名 シハス
支池



安永二癸巳年九月既正

京堀川通綾小路下丁

錢屋庄兵衛

江戸通本石町十軒店

山崎金兵衛

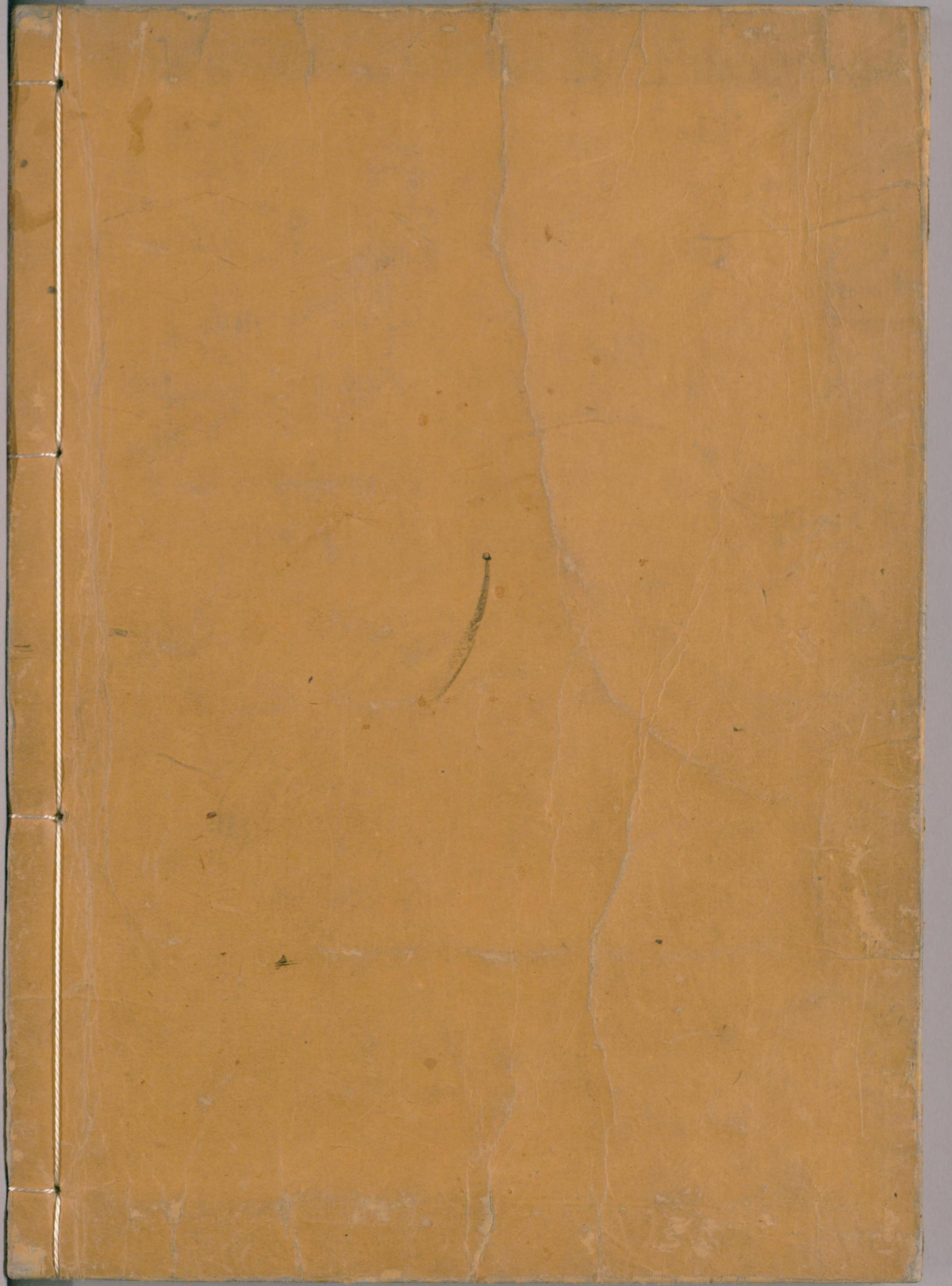
書林

大坂心齋橋筋傳馬町

拍原屋佐兵衛

同壹丁目筋元鞆町

松屋久左衛門



国立国会図書館 タイトル『俗三教裸話：2巻』 請求記号 159-M696z

ガラス使用